

'23春闘ニュース



発行元：神奈川県労働組合総連合 - 横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館 6F TEL045-212-5855 / FAX045-212-5745

JMITU 新年あいさつ訪問行動

JMITUは毎年、春闘のスタートとして新年に経営者に対する要請行動を行っています。今年も1月18日に実施しました。

川崎の職場では、「今春闘では、物価高騰に対応した賃上げをめざしている。労働者の生活を守る大幅賃上げを」と要請。会社側からは「趣旨は理解する。組合が求める回答には至らないかもしれないが、会社としても努力する」と回答がありました。

横浜の職場では、政府や財界などの発言も踏まえて、前向きな賃上げ回答を行うよう要請。対応した社長は、赤字を理由に要請を受け止める回答をしませんでしたが、政府の施策について「税率の軽減を打ち出すべき」と述べました。大和の職場では、賃金カットが行われていることについて元に戻すことなどを要請。「苦しい企業運営が継続しているが、±0の状況を踏まえ4月から実施する方向で考えている」と表明がありました。また、「コネクタなど部材の入荷予定がたたず困っている」、「ギリギリの人員で、誰が欠けても生産不能になってしまう」などの話しも出されました。

春闘闘争宣言行動

国民春闘共闘・全労連・東京春闘共闘は1月12日、本格化する2023年国民春闘に向けて、「2023年春闘闘争宣言行動」を行いました。500人の参加で厚生労働省前行動、丸の内デモ、経団連包囲行動を展開。財界の経済・労働政策に対する批判とともに、大企業は社会的な責任を果たし、内部留保を取り崩して物価高騰を超える大幅賃上げ・底上げ、安定した良質な雇用を実現するよう強く求めました。また、軍事優先の戦争する国づくりに突き進む政府に対して、「軍拡・増税でなく社会保障の充実を」と訴えました。

県春闘共闘は「春闘宣言行動」に呼応して、夕方に桜木町駅前でもチラシ配布とリレースピーチを行いました。民間（生協労連）と公務（教職員連絡会、自治労連）がそれぞれの職場実態と賃金引上げの必要性を訴えました。

1時間の行動でしたが、チラシ400枚を手渡すことができました。「いっしょに声を上げれば賃金アップできる」「軍拡・増税でなくくらしと雇用・営業に税金を使え」「岸田首相が賃上げと言うなら、実質賃金引上げのために消費税の減税、最低賃金引上げを」の訴えに、チラシを受け取った男性は「大企業だけでなく、体力のない中小企業への支援に税金を使って賃金引上げができる環境にしなきゃダメだ」、女性は「労働組合が頑張る時ですね」と反応がありました。

2月19日は全県一斉宣伝統一行動です。各地で国民春闘、「賃上げを徹底追求」しましょう。

